

1 テーマ名

QGIS を活用した圃場マップ活用検討

2 目的

近年、衛星画像を活用した営農診断が出ているが、複雑系の広島県の地形では、上手に活用するのが難しい。これは日射の影響を考慮していないことに由来すると考えられるが、複雑地形を表示する方法論が必要である。

QGIS を活用し、農地マップに地形の情報を掛け合わせて日照時間を可視化し、広島県型農業技術検討に役立てる。

3 調査研究の内容（経過）

- ① QGIS の概要研修と活用法の検討（7/19）
- ② 令和5年度GIS活用勉強会への参加（8/25、9/29、10/20、11/17、12/15）
- ③ 日射解析方法の聞き取り（11/14）
- ④ QGIS 日射解析実習と具体的活用事例の検討（2/8）

4 成果

- ① QGIS を活用した日射解析の操作手引き作成
- ② 新規就農者のアスパラガス定植予定地での検討活用
- ③ 水稻低収圃場における施肥活用（日射量に応じた施肥量の加減に活用）
別添資料参照

5 普及指導活動における活用方法

何となく日当たりが悪いなどの感覚的な圃場把握ではなく、視覚的・定量的に地形を把握できることから、栽培暦や栽培技術マニュアルへの活用が考えられる。